



11月16日開催

令和6年度 津市総合防災訓練

～津市における受援体制の整備～



令和6年10月21日

令和6年度の取組 「津市災害時受援体制整備事業」

◆令和6年能登半島地震では、現場への交通ルート確保や応援部隊の受入れ等の課題が顕在化したことから、本市における受援体制をより確実なものとするための取組を実施

令和6年能登半島地震に学ぶ災害対応研修会(4月)

令和6年能登半島地震における救助部隊の活動や基礎自治体の対応等の状況、現地活動で直面した課題等について市幹部職員を対象とした研修を実施

災害時受援体制整備事業検討会(4月)

大規模災害時における本市と各防災機関相互の連携、情報共有の在り方、広域応援部隊の円滑な受入れ等について確認、協議

令和6年度津市災害対策図上訓練(5月)

受援体制の構築を主眼とし、人命救助を任務とする部隊の受入れに関する手順や救助に必要な情報の収集、伝達方法を確認し、受援業務に係る対応力向上のための訓練を実施

令和6年度津市総合防災訓練(11月)

令和6年度津市総合防災訓練日時・会場

訓練日時

※小雨決行、警報発表時は中止

令和6年11月16日 **土** 9時～11時30分

訓練会場

陸上自衛隊久居駐屯地久居訓練場（津市久居新町）



事前申し込み不要の
防災啓発コーナー等も
ありますので、お気軽に
ご参加ください。

＜お車でお越しになる場合＞
会場内の駐車場の数には限り
がありますので、なるべく乗り合
わせてお越しください。



訓練目的・実施方針

目的

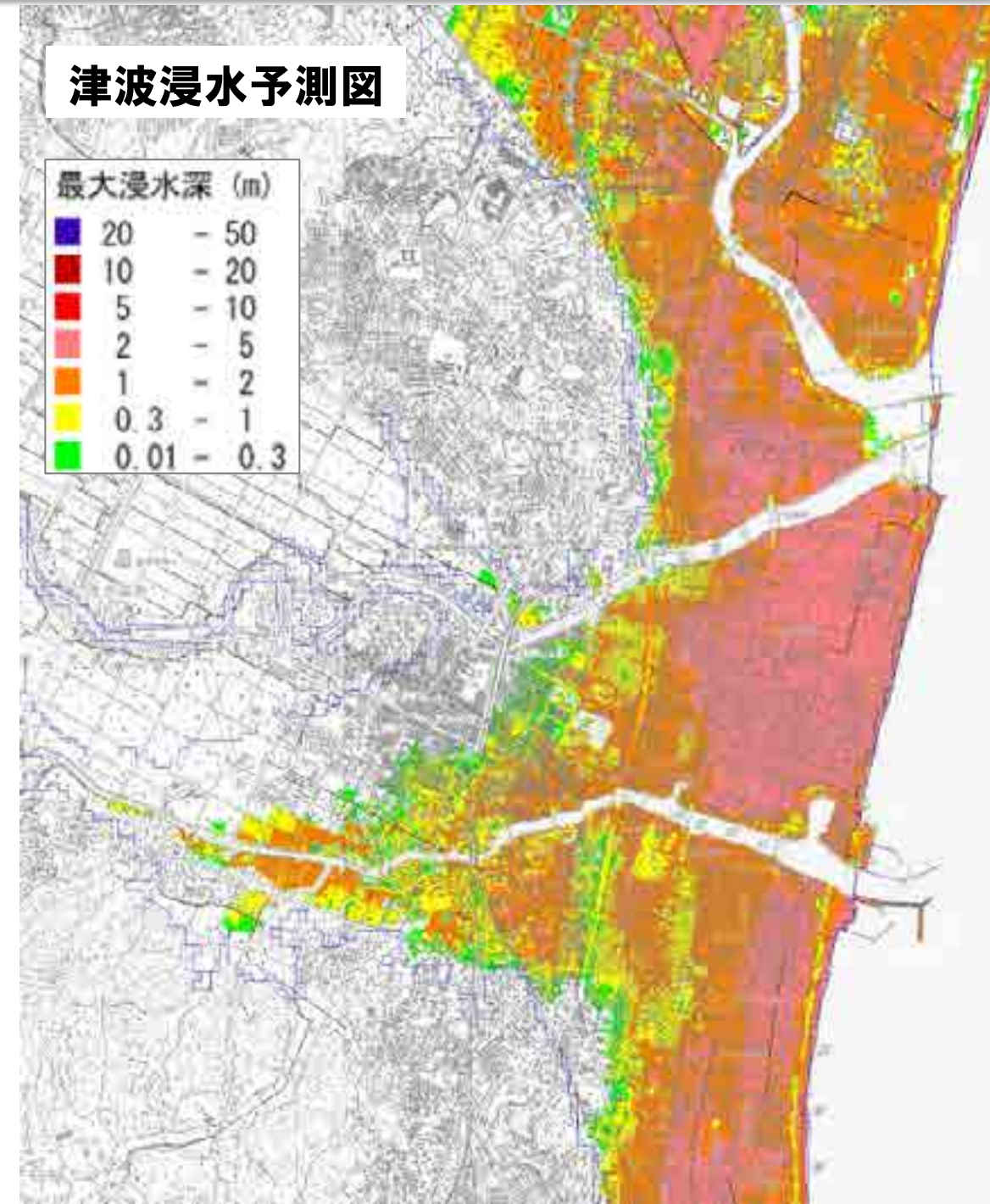
- ▶ 南海トラフ巨大地震の発生を想定し、行政を始めとする防災関係機関及び市民が一体となった実践的な応急活動訓練を実施し、**災害対応技術の向上、相互の連携体制の強化及び防災意識の高揚**を図り、被害の軽減に努める。
- ▶ 本年度の「災害時受援体制整備事業」により見直しを図っている「津市災害時受援計画」等の**実効性について検証**を行い、本市における**受援体制の充実・強化**に資するものとする。

実施方針

- ▶ 災害対策本部による受援対応業務に重点を置いた**指揮機能の強化**
- ▶ 防災関係機関を始め、自主防災組織や民間企業、地域住民等が任務分担し、合同による実践的訓練を通じ**相互の連携意識の醸成**
- ▶ 地域の防災意識の高揚を図り、災害時の行動、的確な判断力等**災害対応力の向上**

訓練想定

- 令和6年11月16日(土)午前6時00分
三重県南東沖を震源とする**マグニチュード
9.0の巨大地震(震度7)**が発生
- 地震に伴う揺れ及び大津波の襲来により、
**建物の倒壊、火災の発生、道路・橋りょう
の損壊、ライフラインの寸断**など甚大な被害が生じ、**人的被害**も多数発生
- 山間部では**大規模な土砂災害、家屋の倒壊及び孤立集落**が発生
- 大津波警報が継続する中、浸水被害区域からの救助要請が集中



1 本市における受援体制の整備

市災害対策本部の指揮・命令機能の強化

- ・被害情報や津波情報の迅速な収集と適正な整理・分析・共有等、調整を行う市災害対策本部の運営
- ・津市道路啓開計画に基づく救助活動に必要な救急想定ルート・受援想定ルート確保のための道路啓開の指示
- ・救助機関の機能・能力を最大限に活かした救助活動の支援

救助機関を始め関係機関・団体相互の連携の確保

- ・航空機による効果的な情報収集と救出救助現場における関係機関の連携
- ・災害協定締結団体による人的、物的支援活動及び市関係部による受入れ手順等の確認

広域応援部隊を円滑に受け入れるための体制構築

- ・広域応援部隊の迅速な救助活動に資する道路啓開等に係る体制の確保と被害状況や通行ルートに関する情報共有・伝達の実践

主要訓練②

2 南海トラフを震源とした巨大地震への対応

◆ 倒壊建物からの救助

自衛隊、消防、消防団が連携し、保有資機材を最大限に活用した要救助者の捜索、救助

◆ 孤立した住民の救助

海上保安庁のヘリコプターによる津波避難ビルに取り残された住民の救助

◆ 土砂災害現場からの救助

自衛隊、国土交通省、DMATの連携による要救助者の救出と現場医療活動

3 地域の自主防災力の向上

◆ 若い世代の活躍

次代を担う世代(高校生・短大生)の自主参加。要支援者との訓練を通じ、見て・感じて・学び、将来の地域の防災力向上へつなげる

◆ 自治会・自主防災会の防災力向上

避難所で使用する防災資器材、救急法・AED取扱いなどを通じた災害対応力(共助)の向上

◆ 地域住民の防災意識の向上

さまざまな機関と合同で行う訓練を通じ、一人一人が防災意識を高め、防災対策の重要性を再認識する

主な訓練項目

市・防災関係機関

- 災害対策本部運営
- 情報収集(県警ヘリ、バイク等)
- 倒壊建物・土砂災害現場からの
捜索救助
- 孤立者救助(ヘリ救助)
- 緊急患者空輸(ドクターヘリ)
- 災害現場医療活動
- 電力応急復旧
- 物資拠点運営
- 応急給水
- 空中消火(防災ヘリ)



災害協定締結機関

- 情報収集
- 道路啓開・応急復旧
- 支援物資輸送・配送



地域住民・高校生等

- 住民避難
- 要支援者支援
- 資機材取扱
(AED、応急手当、
救助工具等)

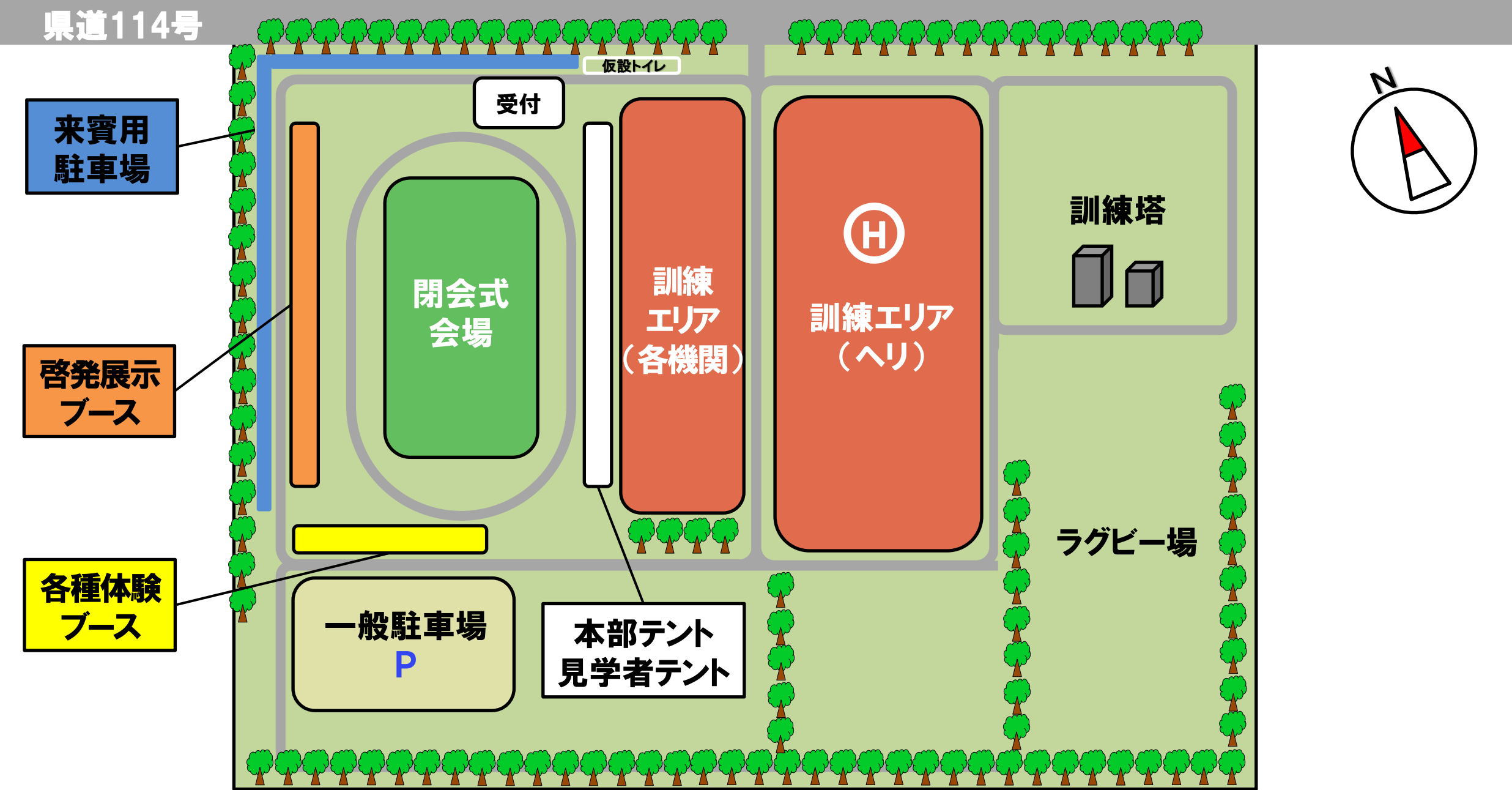


防災啓発・体験コーナー

- 地震・煙・体験
- 住宅耐震促進啓発
- 災害対策車両・電気自動車展示
- 防災パネル、防災用品等の展示



訓練会場図



令和6年度津市総合防災訓練参加予定機関・人数

51機関 約500名

国・県関係機関

15機関

災害協定締結機関

25機関

その他関係機関

8機関

市関係機関

3機関



令和6年度津市総合防災訓練参加機関一覧

区分	機関・企業名(敬称略、順不同)
国・県関係機関(15)	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所、第四管区海上保安本部四日市海上保安部、第四管区海上保安本部中部空港海上保安航空基地、津地方気象台、陸上自衛隊第三十三普通科連隊、航空自衛隊第一警戒隊、航空自衛隊第十四高射隊、三重県警察本部、中部管区警察局三重県情報通信部、三重県津警察署、三重県津南警察署、三重県警察航空隊、三重県防災対策部、三重県防災航空隊、三重県津地域防災総合事務所
災害協定締結機関(25)	三重さきもり倶楽部中勢支部、みえ防災コーディネーター津ブロック、津市ボランティア協議会、津市身障者福祉連合会、三重県建設業協会一志支部、津造園建設業組合、三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、三重県行政書士会、三重県建築士会津支部、三重県トラック協会津支部、赤帽三重県軽自動車運送協同組合、ヤマト運輸株式会社三重主管支店、コメリ災害対策センター、株式会社日硝ハイウェー、災害ボランティアアマチュア無線津、生活協同組合コープみえ、イオンリテール株式会社東海カンパニー、井村屋グループ株式会社、株式会社カインズ、株式会社山口商会、三重三菱販売株式会社、三重日産自動車株式会社、津地区医師会、三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター
その他関係機関(8)	津市自主防災協議会、久居地域自治会、三重県立久居農林高校、津市社会福祉協議会、西日本電信電話株式会社三重支店、株式会社NTTドコモ、中部電力パワーグリッド株式会社三重支社、東邦ガスネットワーク株式会社西部計画センター三重事業所
市機関(3)	津市消防団(学生機能別団員含む)、津市消防本部、津市(各部局)

問い合わせ



危機管理部防災室

〒514-8611 津市西丸之内23番1号

TEL 059-229-3104

FAX 059-223-6247

E-mail 229-3104@city.tsu.lg.jp

**ボートレース津
令和6年11月3日
有料指定席エリア リニューアルオープン！**



令和6年10月21日

リニューアル概要

改修前の課題	・ スタンド棟は築後23年が経過し、各所で経年劣化が進行。特に4階と5階の有料指定席エリアでは内装等が劣化するなど付加価値が低下。 ・ グループで一緒に楽しめるグループ席が少ない。 ・ キッズルームなど家族連れを想定した設備が無い。
工事期間	令和5年9月13日～令和6年10月15日
総事業費	17億 6,065万円
事業内容	4階、5階の有料指定席のフロア約5,349㎡の内装等を改修 → 利用者のニーズに応じてバラエティー豊かな500円/席～1万2,000円/部屋の席を用意 ・ 一人掛け席のスペース拡充、グループ席の増設 ・ 予約システム、在席投票端末等の機能面の拡充 ・ キッズスペースを新設 ・ 利用者が舟券を買う以外にも楽しめるように、展示や映像の演出を追加し指定席の付加価値を向上

デザインコンセプト

津＝港。かつて重要な港貿易の拠点として「日本三津(＝日本三大港)」の一つと言われた歴史を踏まえ、港という意味の「津」を表現。

4階 指定席 MARINA CABIN

臨場感のある船の客室

<デザインキーワード>

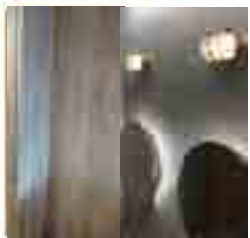
Luxury
&
Wave

有料エリアのゲートをくぐった途端、キャビンのようなくつろぎと華やかさが感じられる空間。
ゆったりとした水の流れをモチーフにした空間と、くつろぎ感のある落ち着いた木や演出照明、カラーリング等により、居住性が高く居心地の良い環境を演出。

<デザインのポイント>

利用者の滞留する場所にポイントを絞って印象的なデザインを施し、広く長い空間を効果的に演出。

<キーマテリアル・デザインモチーフ>



木調の壁とブラケット



ポイントとなる天井造作



アーチやR形状



水を感じる床パターン

5階 スイートルーム Bayside Villa

プライベートな海辺の別荘

<デザインキーワード>

Cozy

屋外感のある明るい開放的な空間、海辺の自然な環境になじむ、プライベート感のあるゾーン。自然の素材を取り入れたデザインで、心地よい時間と空間を提供。

<デザインのポイント>

ビジネスユース、カジュアルユースという2種類の異なるシーンに対応する、6パターンのスイートルームを展開。

<キーマテリアル・デザインモチーフ>



左官塗装壁



屋外感の感じられる床タイル



カラースキームはシックなアースカラー

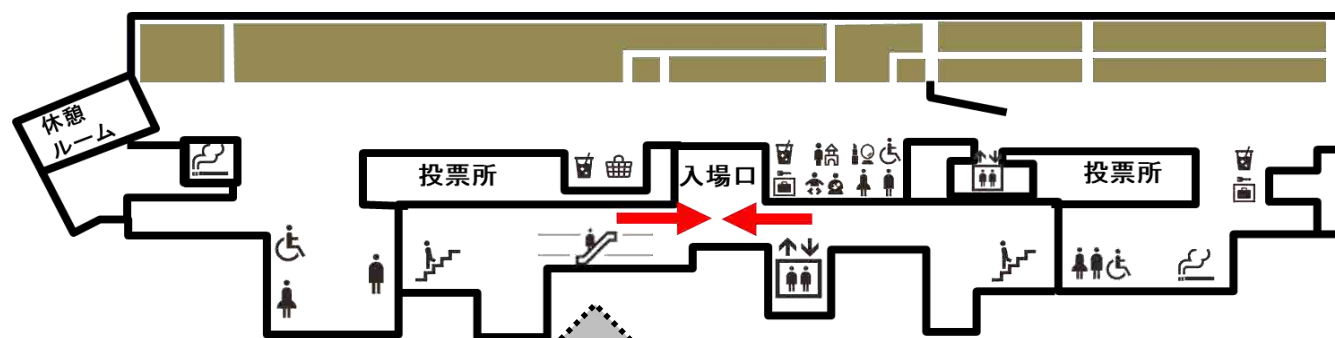


玄関をイメージさせる表札(サイン)やドア

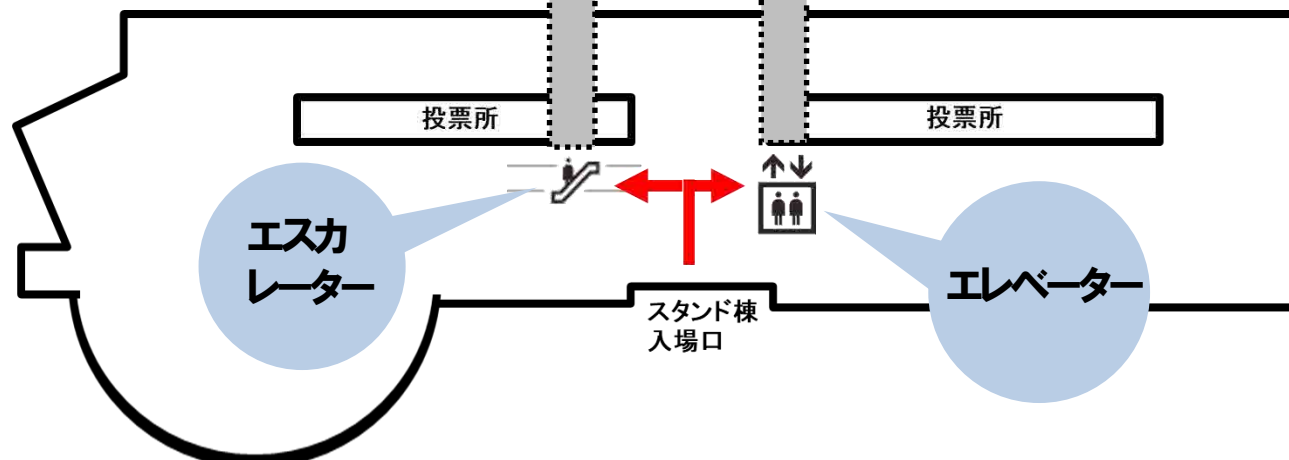
有料指定席エリアまでのルート

4階指定席エリアまでは、1階のエスカレーターまたはエレベーターを使用。
指定席券は、指定席エリア入場口の指定席券販売機器及びチケットカウンターにて購入可能。

4F



1F



指定席券販売機器・チケットカウンター

1F エスカレーター



1F エレベーター



有料指定席 4階 個人席

1

S席

広々とした空間にモニターと在席投票端末を備えた、高級感のあるシングルソファー席



【料金】3,000円(現金)、2,000円(CL払)

【定員】1名 【席数】20席

【席機能】在席投票端末、映像モニター、USB、コンセント電源

2

A席

ゆったりとした空間にモニターを備えた、シングルソファー席



【料金】1,500円(現金)、1,000円(CL払)

【定員】1名 【席数】80席

【席機能】映像モニター、CL投票用iPadの貸出(※)、USB、コンセント電源

3

B席

ワンコインで使用できるリーズナブルなシングル席



【料金】500円

【定員】1名 【席数】284席

【席機能】USB、コンセント電源

4

車いすA席

ゆったりとした空間にモニターを備えた車いす用シングル席



【料金】1,500円(現金)、1,000円(CL払)

【定員】1名 【席数】2席

【席機能】映像モニター、CL投票用iPadの貸出(※)、USB、コンセント電源

5

車いすB席

ワンコインで使用できるリーズナブルな車いす用シングル席

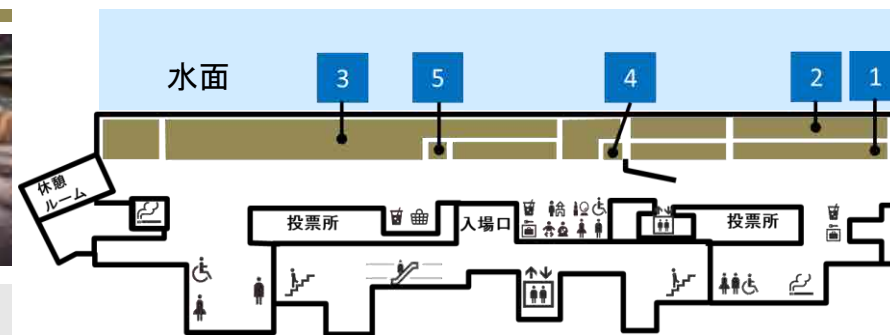


【料金】500円

【定員】1名 【席数】2席

【席機能】USB、コンセント電源

4F



(※) CL とは、ボートレース津のキャッシュレス会員カード「ツッキーカード」

(※) CL投票用iPad貸出は30台

有料指定席 4階 ペア・グループ席

6

ペアA席

広々とした半個室にモニターと在席投票システムを備えた高級感のあるペア席



【料金】3,000円(1,500円/人)

【定員】2名 【席数】8組

【席機能】在席投票システム(bleble ※)、映像モニター、USB、コンセント電源

7

ペアB席

ゆったりと使用できるペアソファ席



【料金】1,000円(500円/人)

【定員】2名 【席数】7組

【席機能】USB、コンセント電源

8

BOX A席

広々とした空間にモニターと在席投票システムを備えた高級感のあるソファBOX席



【料金】7,500円

【定員】6名まで【席数】8箱

【席機能】在席投票システム(bleble ※)、映像モニター、USB、コンセント電源

9

BOX B席

ゆったりとした空間にモニターを備えた掘炬燵またはソファBOX席



【料金】4,000円

【定員】4名まで【席数】掘炬燵6箱、ソファ2箱

【席機能】映像モニター、USB、コンセント電源

10

デラックスBOX席

広々とした半個室空間にモニターを備えた掘炬燵またはソファBOX席

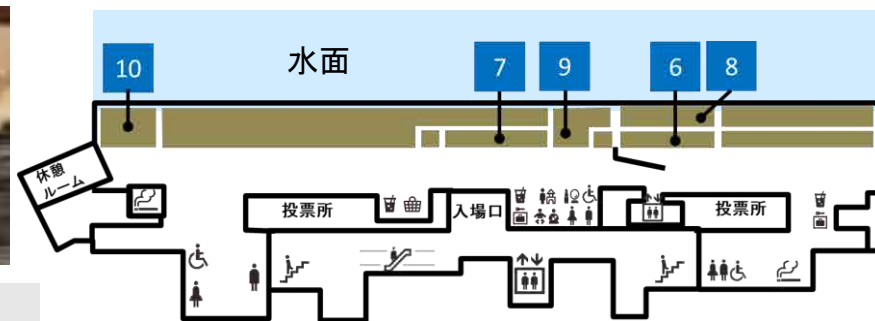


【料金】6,000円

【定員】6名まで【席数】掘炬燵6箱、ソファ3箱

【席機能】映像モニター、USB、コンセント電源

4 F



(※) bleble (ブルブル)
スマホアプリを利用した
キャッシュレス投票システム



有料指定席 4階 キッズルーム

新設!



有料指定席のお客様は
無料で利用可能

■主な設備

授乳室	2部屋
調乳専用 浄水給湯器	1台
オムツ替え台	2台
オムツ用ごみ箱	1台
着せ替え台	1台

有料指定席 5階 個室

ジュニアスイートルーム 1、2、3、4

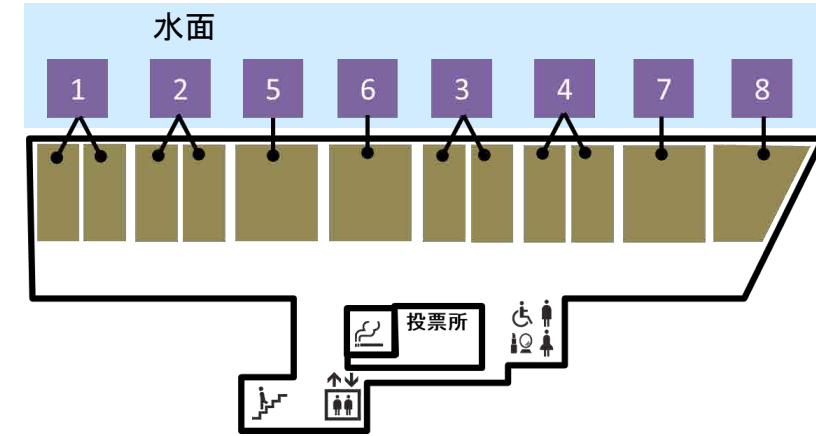
最大6名まで利用可能な
高級感のある個室

【料金】9,000円

【定員】6名まで

【部屋数】8部屋（約49m²/部屋）

【席機能】CL投票機器、映像TV3台、
ハンガーラック、USB、コンセント電源



スイートルーム 5、6、7、8

最大12名まで利用可能な
高級感のある個室

【料金】1万2,000円

【定員】12名まで

【部屋数】4部屋（約100m²/部屋）

【席機能】CL投票機器、映像TV3台、
ハンガーラック、USB、コンセント電源



各ルームの内装は異なります。
それぞれ違った演出で
楽しめます！



演出・展示 ①

有料指定席エリアはレースを観戦するのみではなく、ボートレースをよりいっそう楽しめるよう様々な演出・展示を実施



演出・展示 ②



【サイン入りプロペラ展示】

4階
西側



【ボート・モーター部品 壁面展示】



【漫画背景ボートレース 撮影スポット】

4階
東側



【カポックアート壁面】

※カポック…ボートレーサーがレース時に着用する上着

完成記念式典・オープン日時

◆ 完成記念式典

日時

令和6年10月31日(木) 午前10時30分から

会場

津市モーターボート競走場 4階 有料指定席エリア

(※式典終了後から約1時間、招待者及びプレス向け内覧会を実施)

◆ オープン日時

日時

令和6年11月3日(日・祝) 開門 午前9時30分

開催レース

第16回鳥羽一郎杯争奪戦

問い合わせ



**ボートレース事業部
経営管理課**

〒514-0815

津市藤方637番地

TEL : 059-224-5105

FAX : 059-222-8210